

特 許 協 力 条 約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）  
〔PCT36条及びPCT規則70〕

REC'D 07 APR 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 JP-2043566	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/005072	国際出願日 (日.月.年) 08.04.2004	優先日 (日.月.年) 11.04.2003
国際特許分類 (IPC) Int. Cl <sup>7</sup> G06F17/60		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社ギンガネット		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a ☒ 附属書類は全部で 30 ページである。

☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）

☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。（実施細則第802号参照）

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 08.02.2005	国際予備審査報告を作成した日 24.03.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員)	5 L 8724
	金子 幸一 電話番号 03-3581-1101 内線 3560	

## 第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。  
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査  
☐ PCT規則12.4にいう国際公開  
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第	1, 21-46	ページ、	出願時に提出されたもの	
第	2-20	ページ*	08.02.2005	付で国際予備審査機関が受理したもの
第		ページ*		付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第		項、	出願時に提出されたもの	
第		項*	PCT19条の規定に基づき補正されたもの	
第	1-24	項*	08.02.2005	付で国際予備審査機関が受理したもの
第		項*		付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第	1-47	ページ/図、	出願時に提出されたもの	
第		ページ/図*		付で国際予備審査機関が受理したもの
第		ページ/図*		付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第	_____	ページ
<input checked="" type="checkbox"/> 請求の範囲	第	25-36	項
<input type="checkbox"/> 図面	第	_____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)		_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)		_____	

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

<input type="checkbox"/> 明細書	第	_____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第	_____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第	_____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)		_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)		_____	

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

## 第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1-24	有 無
	請求の範囲		
進歩性(IS)	請求の範囲	1-24	有 無
	請求の範囲		
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-24	有 無
	請求の範囲		

## 2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

## 〔国際調査報告で提示した文献〕

- 文献1: JP 2003-22326 A (富士通株式会社)  
2003.01.24 (ファミリーなし)
- 文献2: JP 11-120261 A (三菱電機株式会社)  
1999.04.30 (ファミリーなし)
- 文献3: JP 9-135816 A (株式会社日立製作所)  
1997.05.27 (ファミリーなし)
- 文献4: JP 2001-84301 A (中野巧三)  
2001.03.30 (ファミリーなし)

## 〔説明〕

国際調査報告で提示した上記文献1-4には、請求の範囲1に記載の特に「前記通信サーバは、容態の変化を監視する必要がある患者や一人暮らしの患者や寝たきりの患者等の要介護者が使用する患者端末が接続され、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末から状況確認できる仮想の看護室を設定する機能」、「前記受付サーバは、要介護者が使用する患者端末からの要求により、当該患者端末を前記設定された仮想の看護室に接続する機能と、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末からの要求により、当該要求元の端末を前記設定された仮想の看護室に接続する機能」について記載されておらず、また、当該文献から自明であるとも言えない。

したがって、請求の範囲1-24は進歩性を有するものである。

ることが可能である。

また、このような在宅診察システムの普及により、患者は診察を受ける自由度が飛躍的に拡大するので、近年問題になっている小児患者等のたらい回しによる事故の防止等にも寄与する。

- 5      しかしながら、かかる従来の在宅診察システムでは、患者端末は医師の診察を受けるとき以外は医師端末と切断状態にあり、患者は医師端末から診察のためのアクセスがあるまでじっと待機していなければならず、その間に患者の容態が急変しても対応できないという問題があった。

- 10      また、実際に病院に行けば待合室にいる患者同士でお互いに声をかけあって情報交換したり、ナースに相談したりすることで病気に対する不安や孤独感を解消することができるが、在宅診察では医師端末と接続して対話する以外は、患者同士で情報交換したり、ナースに相談したりすることができず、病気に対する不安や孤独感を抱えながら日々を過ごさなければならないという問題があった。

- 15      このようなことは、特に1人暮らしの老人や寝たきりの患者にとっては深刻な問題であった。

- 20      それゆえに、本願発明の主たる目的は、患者端末が医師端末と接続されていない場合でも患者の容態の急変等に対応でき、医師の負担を増大することなく病気に対する不安や孤独感を解消可能とし、実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できるようにすることである。

#### 発明の開示

- 25      この発明の在宅診察システムは、テレビ電話機能を有する患者端末とテレビ電話機能を有する医師端末とを通信回線を介して接続して在宅診察サービスを提供するシステムであって、患者端末からの診察要

求を受付ける受付サーバと、診察要求を受付けられた患者端末と医師端末とを接続して、映像及び音声による双方向の通信機能を提供する通信サーバとを備え、通信サーバは患者端末間で映像及び音声による対話サービスを提供する仮想の待合室を設定する機能を有し、受付サーバは診  
5 察要求を受付けられた患者端末を設定された仮想の待合室に接続する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは診察要求を受付けられた患者端末を通信サーバに設定された仮想の待合室に接続し、通信サーバは仮想の待合室に接続された患者端末相互間でテレビ電話による対話サービスを提供する  
10 ので、患者端末が医師端末と接続されて医師による診察を受けるまでの間に患者に容態の急変等があっても仮想の待合室に接続中の他の患者のアシストを受けることができ、仮想の待合室に接続中の患者同士が情報交換することで病気に対する不安や孤独感を解消することができ、実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

15 この発明の在宅診察システムは、通信サーバは病院の待合室に備えられたテレビ電話機能を有する待合室端末を設定された仮想の待合室に接続する機能を有するものである。

これにより、通信サーバは仮想の待合室に接続された患者端末と病院の待合室に備えられた待合室端末との間でテレビ電話による対話サービスを提供するので、患者端末が医師端末と接続されて医師による診察を受けるまでの間に患者に容態の急変等があっても病院の待合室にいる患者等のアシストを受けることができ、患者は病院の待合室にいる患者等  
20 と情報交換することで病気に対する不安や孤独感を解消することができ、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供でき  
25 る。

この発明の在宅診察システムは、受付サーバは送信された仮想の待合室に接続されている呼出元の端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置から仮想の待合室に接続されている呼出先の端末を選択する機能を有し、通信サーバは呼出元の端末と呼出先の端末とを個別に接続して映像及び音声による対話サービスを提供する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは呼出元の端末においてポインティングデバイスにより指定された呼出先の患者端末を選択し、通信サーバは呼出元の端末と呼出先の端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、特定の患者とプライベートな相談を行うことも可能となり、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、受付サーバは患者端末からのナースコールを受付けてテレビ電話機能を有するナース端末に通知する機能を有し、通信サーバはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース端末とを接続して映像及び音声による対話サービスを提供する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは患者端末からのナースコールを受付けてナース端末に通知し、通信サーバはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、在宅患者は容態の急変等があったときにナースに処置を依頼したり、病気に対する不安の相談等を行うことができ、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、

患者端末は受付サーバに対してナースコールを発信するナースコールボタンを備え、ナースコールボタンが押されたときに受付サーバに対して自動的にログインしてナースコールを発信する機能を有するものである。

- 5 これにより、患者端末に備えられたナースコールボタンを押すことで受付サーバに自動的にログインできるので、ログイン前に容態の急変があった場合でもログイン手続を経ることなくナース端末を呼出することができ、緊急の場合でも迅速に在宅診察サービスを提供できる。

- 10 この発明の在宅診察システムは、通信サーバは要看護者が使用する患者端末が接続される仮想の看護室を設定する機能を有し、受付サーバは患者端末または医師端末またはナース端末からの要求により要看護者が使用する患者端末を仮想の看護室に接続する機能を有し、通信サーバは、医師端末および／またはナース端末からの要求により仮想の看護室に接続されている各患者端末の映像及び音声を医師端末および／またはナース端末に送信する機能を有するものである。

- 15 これにより、受付サーバは患者端末または医師端末またはナース端末からの要求により要看護者の患者端末を通信サーバにより設定された仮想の看護室に接続し、通信サーバは医師端末および／またはナース端末からの要求により仮想の看護室に接続されている各患者端末の映像及び音声を送信するので、例えば容態の急変等を看視する必要がある在宅患者を医師端末および／またはナース端末から定期的に見廻ることができ、  
20 より実際に病院に入院したときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、受付サーバは医師端末および／またはナース端末にお

いてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置から仮想の看護室に接続されている患者端末を選択する機能を有し、通信サーバは医師端末および／またはナース端末と選択された患者端末とを個別に接続して映像及び音声による対話サービスを提供する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは医師および／またはナースは端末においてポインティングデバイスにより指定された患者端末を選択し、通信サーバは医師端末および／またはナース端末と選択された患者端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、医師および／またはナースは各患者の容態の急変等をよりの確に把握でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、患者端末は患者の診察に必要な情報を収集する診察センサを備え、診察センサの情報を取得して通信サーバに送信する機能を有するものであって、通信サーバは送信された診察センサの情報を受信して医師端末および／またはナース端末に送信する機能を有し、医師端末および／またはナース端末は送信された診察センサの情報を受信して表示する機能を有するものである。

これにより、医師端末および／またはナース端末において患者端末に備えられた診察センサの情報を確認できるので、在宅患者の病状をよりの確に把握でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

尚、診察センサとしては、例えば体温・心拍・血圧・酸素飽和度・心電図等を測定するバイタルセンサや、心音や呼吸音を音によって聴診する聴診器等のように患者自身がセンサヘッドを装着可能なものが好ましいが、事前に医師等が往診によってセンサヘッドを装着し、在宅診察サー

ビス時に遠隔で測定するようにしてもよい。

この発明の在宅診察システムは、患者端末は診察センサの信号の一部又は全部を音声信号として送信する機能を有するものである。

これにより、例えば聴診器のように医師等がセンサで抽出された音を  
5 直接耳で聞くことにより診察するセンサについては、センサ信号を患者  
端末からテレビ電話の音声信号として送信することで、医師端末におい  
てセンサ信号を通話用のヘッドセット等により直接聞くことができ、よ  
り実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、テレビ電話機能を有する患者端末と  
10 テレビ電話機能を有する医師端末とを通信回線を介して接続して在宅診  
察サービスを提供するシステムであって、患者端末からの診察要求を受  
付ける受付サーバと、診察要求を受け付けられた患者端末と医師端末とを  
接続して、映像及び音声による双方向の通信機能を提供する通信サーバ  
とを備え、通信サーバは要看護者が使用する患者端末が接続される仮想  
15 の看護室を設定する機能を有し、受付サーバは患者端末または医師端末  
またはテレビ電話機能を有するナース端末からの要求により要看護者が  
使用する患者端末を仮想の看護室に接続する機能を有し、通信サーバは  
医師端末および／またはナース端末からの要求により仮想の看護室に接  
続されている各患者端末の映像及び音声を医師端末および／またはナー  
20 ス端末に送信する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは患者端末または医師端末またはナース端末  
からの要求により要看護者の患者端末を通信サーバにより設定された仮  
想の看護室に接続し、通信サーバは医師端末および／またはナース端末  
からの要求により仮想の看護室に接続されている各患者端末の映像及び  
25 音声を送信するので、例えば容態の急変等を監視する必要がある在宅患

者を医師端末および／またはナース端末から定期的に見廻ることができ、実際に病院に入院したときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、受付サーバは医師端末および／またはナース端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上  
5 の位置から仮想の看護室に接続されている患者端末を選択する機能を有し、通信サーバは医師端末および／またはナース端末と選択された患者端末とを個別に接続して映像及び音声による対話サービスを提供する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは医師および／またはナースは端末において  
10 ポインティングデバイスにより指定された患者端末を選択し、通信サーバは医師端末および／またはナース端末と選択された患者端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、医師および／またはナースは各患者の容態の急変等をよりの確に把握でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

15 この発明の在宅診察システムは、受付サーバは患者端末からのナースコールを受付けてナース端末に通知する機能を有し、通信サーバはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース端末とを接続して映像及び音声による対話サービスを提供する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは患者端末からのナースコールを受付けてナ  
20 ース端末に通知し、通信サーバはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、在宅患者は容態の急変等があったときにナースに処置を依頼したり、病気に対する不安の相談等を行うことができ、より実際に

病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、患者端末は受付サーバに対してナースコールを発信するナースコールボタンを備え、ナースコールボタンが押されたときに受付サーバに対して自動的にログインしてナースコール

5 を発信する機能を有するものである。

これにより、患者端末に備えられたナースコールボタンを押すことで受付サーバに自動的にログインできるので、ログイン前に容態の急変があった場合でもログイン手続を経ることなくナース端末を呼出することができ、緊急の場合でも迅速に在宅診察サービスを提供できる。

10 この発明の在宅診察システムは、患者端末は患者の診察に必要な情報を収集する診察センサを備え、診察センサの情報を取得して通信サーバに送信する機能を有し、通信サーバは送信された診察センサの情報を受信して医師端末および／またはナース端末に送信する機能を有し、医師  
15 端末および／またはナース端末は送信された診察センサの情報を受信して表示する機能を有するものである。

これにより、医師端末および／またはナース端末において患者端末に備えられた診察センサの情報を確認できるので、在宅患者の病状をより的確に把握でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

20 尚、診察センサとしては、例えば体温・心拍・血圧・酸素飽和度・心電図等を測定するバイタルセンサや、心音や呼吸音を音によって聴診する聴診器等のように患者自身がセンサヘッドを装着可能なものが好ましいが、事前に医師等が往診によってセンサヘッドを装着し、在宅診察サービス時に遠隔で測定するようにしてもよい。

この発明の在宅診察システムは、患者端末は診察センサの信号の一部又は全部を音声信号として送信する機能を有するものである。

これにより、例えば聴診器のように医師等がセンサで抽出された音を直接耳で聞くことにより診察するセンサについては、センサ信号を患者  
5 端末からテレビ電話の音声信号として送信することで、医師端末においてセンサ信号を通話用のヘッドセット等により直接聞くことができ、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、テレビ電話機能を有する患者端末とテレビ電話機能を有する医師端末とを通信回線を介して接続して在宅診  
10 察サービスを提供するシステムであって、患者端末からの診察要求を受付ける受付サーバと、診察要求を受けられた患者端末と医師端末とを接続して、映像及び音声による双方向の通信機能を提供する通信サーバとを備え、受付サーバは患者端末からのナースコールを受け付けてテレビ  
15 スコールを受けられた患者端末と通知されたナース端末とを接続して映像及び音声による対話サービスを提供する機能を有するものである。

これにより、受付サーバは患者端末からのナースコールを受け付けてナース端末に通知し、通信サーバはナースコールを受けられた患者端末と通知されたナース端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを  
20 提供するので、在宅患者は容態の急変等があったときにナースに処置を依頼したり、病気に対する不安の相談等を行うことができ、実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、患者端末は受付サーバに対してナースコールを発信するナースコールボタンを備え、ナースコールボタンが  
25 押されたときに受付サーバに対して自動的にログインしてナースコールを発

信する機能を有するものである。

これにより、患者端末に備えられたナースコールボタンを押すことで受付サーバに自動的にログインできるので、ログイン前に容態の急変があった場合でもログイン手続を経ることなくナース端末を呼出することが

5 でき、緊急の場合でも迅速に在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察システムは、受付サーバは患者端末から投薬の要求を受付ける機能と、投薬の要求を受付けられた患者の担当医が使用する医師端末に対して投薬確認を問合せる機能と、問合せに対して医師端末が発行する処方箋を薬剤の宅配サービスを行う薬局が使用する薬局端

10 末に配信する機能とを有するものである。

これにより、患者は病院に行くことなく在宅で担当医に投薬を申し込むことができ、宅配サービスにより薬剤を受け取ることができる。

この発明の在宅診察システムは、受付サーバは患者端末から相談の要求を受付ける機能と、相談の要求を受付けられた患者端末から相談文を

15 受信する機能と、受信された相談文を担当医の医師端末に送信する機能と、送信された相談文に対する医師端末からの回答文を受信する機能と、受信された回答文を相談の要求を受付けられた患者端末に送信する機能とを有するものである。

これにより、患者は病院に行くことなく在宅で担当医に医療に関する

20 相談を申し込むことができ、在宅患者は医師に大きな負担をかけることなく病気に対する不安を解消したり、治療の相談等を行うことができる。

この発明の在宅診察システムは、

受付サーバは患者端末から通院の予約を受付ける機能を有するものである。

これにより、患者は病院に行くことなく在宅で通院の予約を行うことができ、病院での待ち合わせ時間を最小限として効率的に担当医の診察

5    を受けることができる。

この発明の在宅診察方法は、テレビ電話機能を有する患者端末とテレビ電話機能を有する医師端末とを通信回線を介して接続して在宅診察サービスを提供する方法であって、患者端末からの診察要求を受付けるステップと、診察要求を受付けられた患者端末と医師端末とを接続して映像及び音声による双方向の通信機能を提供するステップとを備え、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは受付けられた患者端末間で映像及び音声による対話サービスを提供する仮想の待合室を設定するステップを有し、診察要求を受付けるステップは診察要求を受付けられた患者端末を設定された仮想の待合室に接続するステップを有するものである。

10    

15    

これにより、診察要求を受付けるステップは診察要求を受付けられた患者端末を映像及び音声の双方向の通信を行うステップにおいて設定された仮想の待合室に接続し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは仮想の待合室に接続された患者端末相互間でテレビ電話による対話サービスを提供するので、患者端末が医師端末と接続されて医師による診察を受けるまでの間に患者に容態の急変等があっても仮想の待合室に接続中の他の患者のアシストを受けることができ、仮想の待合室に接続中の患者同士で情報交換することで病気に対する不安や孤独感を解消することができ、実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービス

20    

25    を提供できる。

この発明の在宅診察方法は、

映像及び音声の双方向の通信を行うステップは病院の待合室に備えられた待合室端末を設定された仮想の待合室に接続するステップを有するものである。

- 5 これにより、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは仮想の待合室に接続された患者端末と病院の待合室に備えられた待合室端末との間でテレビ電話による対話サービスを提供するので、患者端末が医師端末と接続されて医師による診察を受けるまでの間に患者に容態の急変等があっても病院の待合室にいる患者等のアシストを受けることができ、患者は病院の待合室にいる患者等と情報交換することで病気に対する不安や孤独感を解消することができ、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。
- 10

- この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップは仮想の待合室に接続されている呼出元の端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置から仮想の待合室に接続されている呼出先の端末を選択するステップを有し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは呼出元の端末と呼出先の端末とを個別に接続して映像及び音声による対話サービスを提供するステップを有するものである。
- 15

- これにより、診察要求を受付けるステップは呼出元の端末においてポインティングデバイスにより指定された呼出先の患者端末を選択し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは呼出元の端末と呼出先の端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、特定の患者とプライベートな相談を行うことも可能となり、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。
- 20

この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップ

は患者端末からのナースコールを受付けてテレビ電話機能を有するナース端末に通知するステップを有し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース端末とを接続して映像及び音声による対話サービスを提供するステップを有するものである。

5      これにより、診察要求を受付けるステップは患者端末からのナースコールを受付けてナース端末に通知し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、在宅  
10    患者は容態の急変等があったときにナースに処置を依頼したり、病気に  
対する不安の相談等を行うことができ、より実際に病院に行ったときに  
近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察方法は、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは要看護者が使用する患者端末が接続される仮想の看護室を設定するステップを有し、診察要求を受付けるステップは患者端末または医師  
15    端末またはナース端末からの要求により要看護者が使用する患者端末を  
仮想の看護室に接続するステップを有し、映像及び音声の双方向の通信  
を行うステップは医師端末および／またはナース端末からの要求により  
仮想の看護室に接続されている各患者端末の映像及び音声を医師端末お  
20    よび／またはナース端末に配信するステップを有するものである。

これにより、診察要求を受付けるステップは患者端末または医師端末  
またはナース端末からの要求により要看護者の患者端末を映像及び音声  
の双方向の通信を行うステップにより設定された仮想の看護室に接続し、  
映像及び音声の双方向の通信を行うステップは医師端末および／または  
25    ナース端末からの要求により仮想の看護室に接続されている各患者端末

の映像及び音声を送信するので、例えば容態の急変等を看視する必要のある在宅患者を医師端末および／またはナース端末から定期的に見廻ることができ、より実際に病院に入院したときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

- 5 この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップは医師端末および／またはナース端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置から仮想の看護室に接続されている患者端末を選択するステップを有し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは医師端末および／またはナース端末と選択された患者端末とを個別に接続
- 10 して映像及び音声による対話サービスを提供するステップを有するものである。

- これにより、診察要求を受付けるステップは医師および／またはナースは端末においてポインティングデバイスにより指定された患者端末を選択し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは医師端末および
- 15 /またはナース端末と選択された患者端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、医師および／またはナースは各患者の容態の急変等をよりの確に把握でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

- この発明の在宅診察方法は、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは患者端末に備えられた診察センサにより取得された情報を受信して医師端末および／またはナース端末に送信するステップを有するものである。
- 20

- これにより、医師端末および／またはナース端末において患者端末に備えられた診察センサの情報を確認できるので、在宅患者の病状をよりの確に診察でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サ
- 25

ービスを提供できる。

尚、診察センサとしては、例えば体温・心拍・血圧・酸素飽和度・心電図等を測定するバイタルセンサや、心音や呼吸音を音によって聴診する聴診器等のように患者自身がセンサヘッドを装着可能なものが好ましいが、事前に医師等が往診によってセンサヘッドを装着し、在宅診察サービス時に遠隔で測定するようにしてもよい。

この発明の在宅診察方法は、テレビ電話機能を有する患者端末とテレビ電話機能を有する医師端末とを通信回線を介して接続して在宅診察サービスを提供する方法であって、患者端末からの診察要求を受付けるステップと、診察要求を受付けられた患者端末と医師端末とを接続して映像及び音声による双方向の通信機能を提供するステップとを備え、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは要看護者が使用する患者端末が接続される仮想の看護室を設定するステップを有し、診察要求を受付けるステップは患者端末または医師端末またはテレビ電話機能を有するナース端末からの要求により要看護者が使用する患者端末を仮想の看護室に接続するステップを有し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは医師端末および／またはナース端末からの要求により仮想の看護室に接続されている患者端末の映像及び音声を合成して医師端末および／またはナース端末に配信するステップを有するものである。

これにより、診察要求を受付けるステップは患者端末または医師端末またはナース端末からの要求により要看護者の患者端末を映像及び音声の双方向の通信を行うステップにより設定された仮想の看護室に接続し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは医師端末および／またはナース端末からの要求により仮想の看護室に接続されている各患者端末の映像及び音声を送信するので、例えば容態の急変等を監視する必要のある在宅患者を医師端末および／またはナース端末から定期的に見廻る

ことができ、より実際に病院に入院したときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップは医師端末および／またはナース端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置から仮想の看護室に接続されている患者端末を選択するステップを有し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは医師端末および／またはナース端末と選択された患者端末とを個別に接続して映像及び音声による対話サービスを提供するステップを有するものである。

- 10 これにより、診察要求を受付けるステップは医師および／またはナースは端末においてポインティングデバイスにより指定された患者端末を選択し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップは医師端末および／またはナース端末と選択された患者端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、医師および／またはナースは各患者の
- 15 容態の急変等をよりの的確に把握でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

- この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップは患者端末からのナースコールを受付けてナース端末に通知するステップを有し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース端末とを接続して映像及び音声による
- 20 対話サービスを提供するステップを有するものである。

- これにより、診察要求を受付けるステップは患者端末からのナースコールを受付けてナース端末に通知し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース
- 25 端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、在宅

患者は容態の急変等があったときにナースに処置を依頼したり、病気に  
対する不安の相談等を行うことができ、より実際に病院に行ったときに  
近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

5 この発明の在宅診察方法は、映像及び音声の双方向の通信を行うステ  
ップは患者端末に備えられた診察センサにより取得された情報を受信し  
て医師端末および／またはナース端末に送信するステップを有するもの  
である。

10 これにより、医師端末および／またはナース端末において患者端末に  
備えられた診察センサの情報を確認できるので、在宅患者の病状をより  
的確に診察でき、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サ  
ービスを提供できる。

15 尚、診察センサとしては、例えば体温・心拍・血圧・酸素飽和度・心  
電図等を測定するバイタルセンサや、心音や呼吸音を音によって聴診す  
る聴診器等のように患者自身がセンサヘッドを装着可能なものが好ましい  
が、事前に医師等が往診によってセンサヘッドを装着し、在宅診察サー  
ビス時に遠隔で測定するようにしてもよい。

20 この発明の在宅診察方法は、テレビ電話機能を有する患者端末とテレ  
ビ電話機能を有する医師端末とを通信回線を介して接続して在宅診察サ  
ービスを提供する方法であって、患者端末からの診察要求を受付けるス  
テップと、診察要求を受付けられた患者端末と医師端末とを接続して映  
像及び音声による双方向の通信機能を提供するステップとを備え、診察  
要求を受付けるステップは患者端末からのナースコールを受付けてテレ  
ビ電話機能を有するナース端末に通知するステップを有し、映像及び音  
声の双方向の通信を行うステップはナースコールを受付けられた患者端  
25 末と通知されたナース端末とを接続して映像及び音声による対

話サービスを提供するステップを有するものである。

- これにより、診察要求を受付けるステップは患者端末からのナースコールを受付けてナース端末に通知し、映像及び音声の双方向の通信を行うステップはナースコールを受付けられた患者端末と通知されたナース
- 5 端末との間でテレビ電話による個別対話サービスを提供するので、在宅患者は容態の急変等があったときにナースに処置を依頼したり、病気に対する不安の相談等を行うことができ、より実際に病院に行ったときに近い環境で在宅診察サービスを提供できる。

- この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップは患者端末
- 10 から投薬の要求を受付けるステップと、投薬の要求を受付けられた患者の担当医が使用する医師端末に対して投薬確認を問合せるステップと、問合せに対して医師端末が発行する処方箋を薬剤の宅配サービスを行う薬局が使用する薬局端末に配信するステップとを有するものである。

- これにより、患者は病院に行くことなく在宅で担当医に投薬を申し込
- 15 むことができ、宅配サービスにより薬剤を受け取ることができる。

- この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップは患者端末から相談の要求を受付けるステップと、相談の要求を受付けられた患者
- 20 端末から相談文を受信するステップと、受信された相談文を担当医の医師端末に送信するステップと、送信された相談文に対する医師端末からの回答文を受信するステップと、受信された回答文を相談の要求を受付けられた患者端末に送信するステップとを有するものである。

これにより、患者は病院に行くことなく在宅で担当医に医療に関する相談を申し込むことができ、在宅患者は医師に大きな負担をかけること

なく病気に対する不安を解消したり、治療の相談等を行うことができる。

この発明の在宅診察方法は、診察要求を受付けるステップは患者端末から通院の予約を受付けるステップを有するものである。

5 これにより、患者は病院に行くことなく在宅で通院の予約を行うことができ、病院での待ち合わせ時間を最小限として効率的に担当医の診察を受けることができる。

この発明の在宅診察プログラムは、この発明の在宅診察方法をコンピュータで実行させるためのものである。

10 かかる在宅診察プログラムをコンピュータで実行させ、通信回線を介して患者端末と接続することにより、この発明の在宅診察方法が奏する作用効果と同様の作用効果を奏する。

本願発明の上述の目的、その他の目的、特徴および利点は、図面を参照して行う以下の発明の実施の形態の詳細な説明から一層明らかとなるう。

15

#### 図面の簡単な説明

第1図は、本願発明の一実施形態にかかる在宅診察システムのシステム構成図である。

20 第2図は、本願発明の一実施形態にかかる在宅診察システムの通信サーバに備えられた接続先テーブルの設定例を示す図である。

第3図は、本願発明の一実施形態にかかる在宅診察システムの患者端末に備えられる診察センサの例を示す図である。

第4図は、本願発明の一実施形態にかかる在宅診察システムの受付サ

25

## 請 求 の 範 囲

1. (補正後) テレビ電話機能を有し、在宅患者が使用する患者端末から診察要求を受付ける機能と、前記診察要求を受付けられた患者端末をテレビ電話機能を有する医師端末と接続する機能とを有する受付サーバと、前記接続された患者端末と医師端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供する機能を有する通信サーバとを備えた在宅診察システムであって、

- 10 前記通信サーバは、容態の変化を監視する必要のある患者や一人暮らしの患者や寝たきりの患者等の要看護者が使用する患者端末が接続され、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末から状況確認できる仮想の看護室を設定する機能を有し、

- 15 前記受付サーバは、要看護者が使用する患者端末からの要求により、当該患者端末を前記設定された仮想の看護室に接続する機能と、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末からの要求により、当該要求元の端末を前記設定された仮想の看護室に接続する機能とを有し、

- 20 前記通信サーバは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された少なくとも映像を受信して要求元の端末において一覧表示されるように合成する機能と、前記合成された少なくとも映像を前記要求元の端末に送信する機能とを有し、

- 25 前記受付サーバは、前記要求元の端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置に基づいて前記設定された仮想の看護室に接続されている患者端末を選択する機能と、前記選択された患者端末と前記要求元の端末とを個別に接続する機能とを有し、

- 前記通信サーバは、前記接続された患者端末と要求元の端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供する機能を有すること

を特徴とする、在宅診察システム。

2. (補正後) テレビ電話機能を有し、在宅患者が使用する患者端末から診察要求を受付ける機能と、前記診察要求を受付けられた患者端末をテレビ電話機能を有する医師端末と接続する機能とを有する受付サーバと
- 5 、前記接続された患者端末と医師端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供する機能を有する通信サーバとを備えた在宅診察システムであって、

- 前記通信サーバは、容態の変化を監視する必要のある患者や一人暮らしの患者や寝たきりの患者等の要看護者が使用する患者端末が接続され
- 10 、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末から状況確認できる仮想の看護室を設定する機能を有し、

- 前記受付サーバは、要看護者が使用する患者端末からの要求により、当該患者端末を前記設定された仮想の看護室に接続する機能と、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末からの要求により、当該要
- 15 求元の端末を前記設定された仮想の看護室に接続する機能とを有し、

前記通信サーバは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された少なくとも映像を受信して要求元の端末に送信する機能を有し、

- 前記要求元の端末は、前記設定された仮想の看護室に接続されている
- 20 各患者端末から送信された少なくとも映像を受信して一覧表示する機能を有し、

前記要求元の端末は、ポインティングデバイスにより指定された画面上の位置に基づいて前記設定された仮想の看護室に接続されている患者端末を選択する機能を有し、

- 25 前記受付サーバは、前記要求元の端末において選択された患者端末と前記要求元の端末とを個別に接続する機能を有し、

前記通信サーバは、前記接続された患者端末と要求元の端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供する機能を有することを特徴とする、在宅診察システム。

3. (補正後) 前記患者端末は、患者の診察に必要な情報を収集する診察  
5 センサを備え、前記診察センサの情報を取得して前記通信サーバに送信する機能を有し、

- 前記通信サーバは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された診察センサの情報を受信して、前記合成された映像の各患者端末の映像に対応させて合成する機能を有することを特徴  
10 とする、請求項 1 に記載の在宅診察システム。

4. (補正後) 前記患者端末は、患者の診察に必要な情報を収集する診察  
センサを備え、前記診察センサの情報を取得して前記通信サーバに送信する機能を有し、

- 前記通信サーバは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各  
15 患者端末から送信された診察センサの情報を受信して前記要求元の端末に送信する機能を有し、

前記要求元の端末は、前記送信された診察センサの情報を受信して前記表示された各患者端末の映像に対応させて表示する機能を有することを特徴とする、請求項 2 に記載の在宅診察システム。

- 20 5. (補正後) 前記受付サーバは、前記設定された仮想の看護室に接続された患者端末から送信中断要求を受付ける機能を有し、

前記通信サーバは、前記送信中断要求を受付けられた患者端末の映像及び音声の送信を中断する機能を有することを特徴とする、請求項 1 な  
いし請求項 4 のいずれかに記載の在宅診察システム。

- 25 6. (補正後) 前記受付サーバは、前記要求元の端末から一斉放送要求を受付ける機能を有し、

前記通信サーバは、前記一斉要求を受付けられた要求元の端末から送信された少なくとも音声を受信して前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末に対して一斉送信する機能を有することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の在宅診察システム。

- 5 7. (補正後) 前記通信サーバは、診察要求を受付けられた患者端末が多点接続される仮想の待合室を設定する機能を有し、

前記受付サーバは、前記診察要求を受付けられた患者端末を前記設定された仮想の待合室に接続する機能を有し、

- 10 前記通信サーバは、前記接続されている患者端末間で多点接続による双方向通信サービスを提供する機能を有し、

前記設定された仮想の待合室に接続されている呼出元の患者端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置から前記設定された仮想の待合室に接続されている呼出先の患者端末を選択する機能と、前記選択された呼出先の患者端末と前記呼出元の患者端末とを個

- 15 別に接続する機能とを有し、

前記通信サーバは、前記接続された呼出先の患者端末と呼出元の患者端末との間で映像及び音声による通信サービスを提供する機能を有することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 6 のいずれかに記載の在宅診察システム。

- 20 8. (補正後) 前記受付サーバは、病院の待合室に備えられたテレビ電話機能を有する待合室端末を前記設定された仮想の待合室に接続する機能を有することを特徴とする、請求項 7 に記載の在宅診察システム。

9. (補正後) 前記受付サーバは、前記診察要求を受付けられた患者のリストをテレビ電話機能を有するナース端末に提示する機能と、前記ナース  
25 ス端末において提示された患者のリストから選択された患者が使用する患者端末と当該ナース端末とを個別に接続する機能とを有し、

前記通信サーバは、前記接続された患者端末とナース端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供する機能を有することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 8 のいずれかに記載の在宅診察システム。

- 5 10. (補正後) 前記受付サーバは、前記患者端末からナースコールを受付ける機能と、前記受け付けられたナースコールをテレビ電話機能を有するナース端末に通知する機能と、前記ナースコールを受け付けられた患者端末と前記ナースコールを通知されたナース端末とを自動接続する機能とを有し、

- 10 前記通信サーバは、前記接続された患者端末とナース端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供する機能を有することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 9 のいずれかに記載の在宅診察システム。

11. (補正後) 前記患者端末は、前記受付サーバに対してナースコール  
15 を発信するナースコールボタンを備え、前記ナースコールボタンが押されたときに前記受付サーバに対して自動的にログインしてナースコールを発信する機能を有するものであることを特徴とする、請求項 10 に記載の在宅診察システム。

12. (補正後) 前記受付サーバは、前記ナースコールを通知されたナース  
20 端末から急患通知を受付ける機能と、前記受け付けられた急患通知を前記ナースコールを受け付けられた患者の担当医が使用する医師端末に通知する機能と、前記ナースコールを受け付けられた患者端末と前記急患通知が通知された医師端末とを自動接続する機能とを有し、

- 前記通信サーバは、前記接続された患者端末と医師端末との間で映像  
25 及び音声による双方向の通信サービスを提供する機能を有することを特徴とする、請求項 10 または請求項 11 に記載の在宅診察システム。

1 3. (補正後) 前記受付サーバは、前記患者端末から投薬要求を受付ける機能と、前記投薬要求を受付けられた患者の担当医が使用する医師端末に対して投薬確認を問合せの機能と、前記投薬確認の問合せに対して前記医師端末が発行する処方箋を薬剤の宅配サービスを行う薬局が使用する薬局端末に配信する機能とを有することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 1 2 のいずれかに記載の在宅診察システム。

1 4. (補正後) 前記受付サーバは、前記患者端末から相談要求を受付ける機能と、前記相談要求を受付けられた患者端末から相談文を受信する機能と、前記受信された相談文を担当医の前記医師端末に送信する機能と、前記送信された相談文に対する前記医師端末からの回答文を受信する機能と、前記受信された回答文を前記相談要求を受付けられた患者端末に送信する機能とを有することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 1 3 のいずれかに記載の在宅診察システム。

1 5. (補正後) 前記受付サーバは、前記患者端末から通院の予約を受付ける機能を有することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 1 4 のいずれかに記載の在宅診察システム。

1 6. (補正後) テレビ電話機能を有し、在宅患者が使用する患者端末から診察要求を受付けるステップと、前記診察要求を受付けられた患者端末をテレビ電話機能を有する医師端末と接続するステップとを有する受付ステップと、前記接続された患者端末と医師端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供するステップを有する通信ステップとを備えた在宅診察方法であって、

前記通信ステップは、容態の変化を監視する必要がある患者や一人暮らしの患者や寝たきりの患者等の要介護者が使用する患者端末が接続され、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末から状況確認できる仮想の看護室を設定するステップを有し、

前記受付ステップは、要看護者が使用する患者端末からの要求により、当該患者端末を前記設定された仮想の看護室に接続するステップと、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末からの要求により、当該要求元の端末を前記設定された仮想の看護室に接続するステップと

5 を有し、

前記通信ステップは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された少なくとも映像を受信して要求元の端末において一覧表示されるように合成するステップと、前記合成された少なくとも映像を前記要求元の端末に送信するステップとを有し、

10 前記受付ステップは、前記要求元の端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置に基づいて前記設定された仮想の看護室に接続されている患者端末を選択するステップと、前記選択された患者端末と前記要求元の端末とを個別に接続するステップとを有し、

15 前記通信ステップは、前記接続された患者端末と要求元の端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供するステップを有することを特徴とする、在宅診察方法。

17. (補正後) テレビ電話機能を有し、在宅患者が使用する患者端末から診察要求を受付けるステップと、前記診察要求を受付けられた患者端末をテレビ電話機能を有する医師端末と接続するステップとを有する受付ステップと、前記接続された患者端末と医師端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供するステップを有する通信ステップとを備えた在宅診察方法であって、

25 前記通信ステップは、容態の変化を監視する必要がある患者や一人暮らしの患者や寝たきりの患者等の要看護者が使用する患者端末が接続され、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末から状況確認できる仮想の看護室を設定するステップを有し、

前記受付ステップは、要看護者が使用する患者端末からの要求により、当該患者端末を前記設定された仮想の看護室に接続するステップと、テレビ電話機能を有するナース端末または医師端末からの要求により、当該要求元の端末を前記設定された仮想の看護室に接続するステップと

5 を有し、

前記通信ステップは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された少なくとも映像を受信して要求元の端末に送信するステップを有し、

10 前記要求元の端末は、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された少なくとも映像を受信して一覧表示するステップを有し、

前記要求元の端末は、ポインティングデバイスにより指定された画面上の位置に基づいて前記設定された仮想の看護室に接続されている患者端末を選択するステップを有し、

15 前記受付ステップは、前記要求元の端末において選択された患者端末と前記要求元の端末とを個別に接続するステップを有し、

前記通信ステップは、前記接続された患者端末と要求元の端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供するステップを有することを特徴とする、在宅診察方法。

20 18. (補正後) 前記患者端末は、患者の診察に必要な情報を収集する診察センサを備え、前記診察センサの情報を取得して前記通信ステップに送信するステップを有し、

前記通信ステップは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された診察センサの情報を受信して、前記合成された映像の各患者端末の映像に対応させて合成するステップを有することを特徴とする、請求項16に記載の在宅診察システム。

25

19. (補正後) 前記患者端末は、患者の診察に必要な情報を収集する診察センサを備え、前記診察センサの情報を取得して前記通信ステップに送信するステップを有し、

5 前記通信ステップは、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された診察センサの情報を受信して前記要求元の端末に送信するステップを有し、

10 前記要求元の端末は、前記設定された仮想の看護室に接続されている各患者端末から送信された診察センサの情報を受信して前記表示された各患者端末の映像に対応させて表示するステップを有することを特徴とする、請求項17に記載の在宅診察方法。

20. (補正後) 前記通信ステップは、診察要求を受付けられた患者端末が多地点接続される仮想の待合室を設定するステップを有し、

前記受付ステップは、前記診察要求を受付けられた患者端末を前記設定された仮想の待合室に接続するステップを有し、

15 前記通信ステップは、前記接続されている患者端末間で多地点接続による双方向通信サービスを提供するステップを有し、

前記設定された仮想の待合室に接続されている呼出元の患者端末においてポインティングデバイスにより指定された画面上の位置から前記仮想の待合室に接続されている呼出先の患者端末を選択するステップと、

20 前記選択された呼出先の患者端末と前記呼出元の患者端末とを個別に接続するステップとを有し、

25 前記通信ステップは、前記接続された呼出先の患者端末と呼出元の患者端末との間で映像及び音声による通信サービスを提供するステップを有することを特徴とする、請求項16ないし請求項19のいずれかに記載の在宅診察方法。

21. (補正後) 前記受付ステップは、前記診察要求を受付けられた患者

のリストをテレビ電話機能を有するナース端末に提示するステップと、前記ナース端末において提示された患者のリストから選択された患者が使用する患者端末と当該ナース端末とを個別に接続するステップとを有し、

- 5 前記接続された患者端末とナース端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供するステップを有することを特徴とする、請求項 16 ないし請求項 20 のいずれかに記載の在宅診察方法。

22. (補正後) 前記受付ステップは、前記患者端末からナースコールを受付けるステップと、前記受け付けられたナースコールを前記ナース端末に通知するステップと、前記ナースコールを受け付けられた患者端末と前記ナースコールを通知されたナース端末とを自動接続するステップとを有し、

- 前記通信ステップは、前記接続された患者端末とナース端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供するステップを有することを特徴とする、請求項 16 ないし請求項 21 のいずれかに記載の在宅診察方法。

23. (補正後) 前記受付ステップは、前記ナースコールを通知されたナース端末から急患通知を受付けるステップと、前記受け付けられた急患通知を前記ナースコールを受け付けられた患者の担当医が使用する医師端末に通知するステップと、前記ナースコールを受け付けられた患者端末と前記急患通知が通知された医師端末とを自動接続するステップとを有し、

- 前記通信ステップは、前記接続された患者端末と医師端末との間で映像及び音声による双方向の通信サービスを提供するステップを有することを特徴とする、請求項 22 に記載の在宅診察システム。

24. (補正後) 請求項 16 ないし請求項 23 のいずれかに記載の在宅

診察方法をコンピュータで実行させるための、在宅診察プログラム。

- 25. (削除)
- 26. (削除)
- 27. (削除)
- 5 28. (削除)
- 29. (削除)
- 30. (削除)
- 31. (削除)
- 32. (削除)
- 10 33. (削除)
- 34. (削除)
- 35. (削除)
- 36. (削除)